

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025 年 3 月 18 日（第 3.0 版）

承認番号	24059
課題名	炎症性腸疾患患者を対象にした看護師の両立支援実施状況の調査
研究期間	西暦 2024 年 9 月 9 日（実施許可日） ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2024年1月1日～2025年2月28日の期間に旭川医科大学病院に入院された18歳以上のIBD患者さん
利用する試料・情報の種類	☐ 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、臨床的活動度、治療内容、検査結果、画像診断結果、入院理由など） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
利用予定日	開始日 実施許可日から 1 か月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	炎症性腸疾患 (IBD) は、主に潰瘍性大腸炎 (UC) とクローン病 (CD) の 2 つの疾患を意味します。主に 10～20 代の若年者に発症し、根治的な治療法が無いため生涯にわたる治療が必要となります。そのため治療を受けていく中で様々なライフイベントを経験することになりますが、特に就職など労働に関する何らかの援助が必要になるケースがあります。 両立支援は、適切な治療を受けながら就労を継続し治療と職業生活の両立を支援する取り組みです。これまでに、旭川医科大学病院では医療者を対象とした両立支援に関するアンケート調査で、両立支援の認知度は 28.2-36.7%、ガイドラインの認知度は 7.4-10%と非常に低いことが明らかとなりました（未公表データ、倫理委員会承認番号 23155）。そのため、正しい両立支援実施のために院内の医療者を対象とした教育プログラムを 2024 年 1 月に開始し、実際に旭川医科大学病院の IBD 患者さんを対象に看護師から両立支援を紹介する活動を開始しています。 本研究は、医療者を対象とした教育プログラム開始後の IBD 患者への両立支援の実際および両立支援を実施するにあたっての問題点や課題、実際の患者のニーズを明らかにすることを目的としています。
研究の方法	(1) 研究の種類・デザイン：後ろ向きコホート研究 (2) 選択基準：①IBD と診断された患者さん、②18 歳以上の IBD 患者さん、就労の有無は問わない、③2024 年 1 月以降に旭川医科大学病院 6 階西病棟に入院した IBD 患者さん (3) 除外基準：18 歳未満の IBD 患者さん (4) 目標症例数：合計 100 例 (5) 評価項目

	主要評価項目：両立支援の実践件数との IBD 全体から見た割合（％） 副次評価項目：就労率、雇用状況、就労に関する悩みの割合とその内容、メディカルソーシャルワーカーとの面談率、IBD 患者の両立支援に対するニーズ評価
その他	特にありません
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 078-8510 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 旭川医科大学内科学講座 消化器内科学講座 電話番号：0166-68-2462 時間：AM9:00-16:00 問い合わせ先：講師 上野伸展 研究責任者： 旭川医科大学病院 6 階西病棟・副看護師長 長谷川紗希 研究分担者： 旭川医科大学病院 総合診療部・講師 上野伸展 旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野・教授 藤谷幹浩 旭川医科大学病院 6 階西病棟・看護師長 業天洋美 旭川医科大学病院 6 階西病棟・看護師 太田千尋 旭川医科大学病院 6 階西病棟・看護師 工藤莉奈